

(1) 実施機関名：

京都大学防災研究所

(2) 研究課題(または観測項目)名：

日本列島の地殻構造データベースのプロトタイプの構築

(3) 最も関連の深い建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

(3) 地震・火山現象に関するデータベースの構築

イ. 地震・火山現象に関する情報の統合化

(4) その他関連する建議の項目：

(5) 本課題の 5 か年の到達目標：

地殻活動予測シミュレーション等において必要となる各種データのうち、地殻構造モデル(地震波速度、各境界面深度等)は物性や境界条件を与えるために不可欠である。しかし、各地域において様々な手法による地殻構造モデルが提唱されている一方で、予測シミュレーションの入力とすにあたって、現状では、必要なデータを実際に使える形で提供できているとはいいがたい。

そこで、本計画では、既存研究成果を一元的に取り込み、地殻活動シミュレーションや強震動予測シミュレーション等に資するためのデータベースの構造を定義し、南海トラフや西南日本内陸等を初めとする各地を対象としたシミュレーションに資するために既存研究成果の数値化を行い、日本列島地殻構造データベースとして集約する。

既存研究成果としては、人工地震探査、トモグラフィー解析、レシーバ関数解析、地震波反射面などの結果をデータベース化対象とし、これらを個別に収録するだけでなく、探査測線の違いやイメージング手法の違いを吸収し、また接続・統合するための手法開発もおこなう。また、データベースのもととなった研究成果の手法・仮定などのメタデータを提供する方法についても検討する。

(6) 本課題の 5 か年計画の概要：

- ・平成 21 年度：
- ・データベース(DB)化するデータの検討と DB 共通フォーマットの開発
- ・データベース化する資料の収集の開始
- ・平成 22 年度～平成 24 年度：
- ・データベース(DB)化するデータの検討と DB 共通フォーマットの開発
- ・データベース化する資料の収集と数値化
- ・データ公開サーバの設計およびデータの登載
- ・平成 25 年度
- ・データベース化する資料の収集と数値化
- ・データの試験公開

(7) 平成 23 年度成果の概要：

H22 年度にグループ内で合意がなされた、「日本列島下の地震波速度不連続面形状標準モデル」について、H22 年度に試作されたモデルを、数値化してウェブ公開する作業をおこなった。作業は現在も

進行中で、平成 24 年 3 月末には公開できる予定である。公開は <http://epdb.rcep.dpri.kyoto-u.ac.jp> の、「地震・火山噴火予知研究計画データベース」の上で行う予定である。

(8) 平成 23 年度の成果に関連の深いもので、平成 23 年度に公表された主な成果物(論文・報告書等) :

(9) 平成 24 年度実施計画の概要 :

平成 22 年度、23 年度に引き続き、「日本列島下の地震波速度不連続面形状標準モデル」に向けた、既往研究結果の標準フォーマットでの公開を進めるとともに、地震波速度構造の 3 次元分布等の、不均質構造データのデータベース化の作業を検討する。

(10) 実施機関の参加者氏名または部署等名 :

大見士朗・平原和朗・加納靖之(京大)

他機関との共同研究の有無 : 有

趙大鵬・中島淳一(東北大)、松原誠(防災科研)、金田義行(JAMSTEC)、岩崎貴哉・瀧藤一起・鶴岡弘(東大)

(11) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名 : 京都大学防災研究所地震防災研究部門

電話 : 0774-38-4236

e-mail : ohmi@rcep.dpri.kyoto-u.ac.jp

URL :

(12) この研究課題(または観測項目)の連絡担当者

氏名 : 大見士朗

所属 : 京都大学防災研究所地震防災研究部門